
人間若返りの話

大国主 みこと

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人間若返りの話

【Nコード】

N9736M

【作者名】

大国主 みこと

【あらすじ】

ヘアヌードとマリファナと、不景気と不人気が跳梁バッコする退廃的な世の中で、主人公・

世直尾氏は世界における食品業と売春業の不滅性に鑑み、「本能は儲かる」との理論を打

ち立て“なやみとり株式会社”を設立した。世直尾氏は人間の若返りこそ、なやみとりの

画期的な新サービスの開発であり、究極的サービスの提供であると信じて疑わなかった。

人間はあらゆる悩みと戦っている。

極く普通の人間は病苦、生活苦、失恋、不和、月給難、住宅難といった類の悩みを身体中に張り付けている。

世界の高度な知性は、人間の本质における無意味さを看破し、虚無的になるか、刹那的になるか、あるいは光明を求めて伸吟している。

この哀れな人間達を救う為に立ち上がった、かの有名な唯物史観に立脚する人々の野心的な試みは失敗して久しく、歴史の彼方に埋もれた。ヤオヨロズの教祖様のお説教にも心を委ねる事のなくなった人々の精神的な支えもまた失われて久しい。信じる者も救われな
い不毛の世に突き進んでいるかに見える。

だがここに一人の男、世奈尾氏はへアヌードとマリファナと、不景気と不

人気が跳梁バツコする現代に、敢然と挑戦したのであります。

帝国主義的思想の持主、世奈尾氏は、悩むことは人間の本能であると結論を下すと共に、

世界における食品業と売春業の不滅性に鑑み、”本能は儲かる”との理論を打ち立てた。

そこでは世奈尾氏は「なやみとり株式会社」を設立した。悩む客がやって来た。

「いらつしゃいませ、どの様な悩みをお持ちですか」

「最近イライラして眠れません。どうもノイローゼではないかと、ノイローゼになって
います」

「どのようなお過ごしですか」

「ゴロ寝テレビなどを少々」

「他には」

「そうですね、ストーカー業務などを少々」

「エエツ、お仕事は」

「はい、ゲイノーレポーターなどを少々」

「それはいけません。政府に協力して消費を楽しんで下さい。では当社のサービスについて説明します。どうぞこちらへ」

コンベアから勢いよく、夥しい小箱が流れてくるのを、男や女がボール箱に懸命に詰め

込んでいた。少しでも休むと彼等は小箱に埋められて窒息する恐れがあった。別のグルー

プはドロドロに溶けたガラスの種を、吹棒につけて涙ぐましい速さでビンを作っていた。

少しでも休むと、種が釜からあふれて火傷する恐れがあった。

「ヤヤア！ これは昔日の詐欺階級のやりくちではないか」と客は叫んだ。

「イヤイヤ、これは彼の有名な条件反射の原理を応用しています。

あの人達が生命の危険

に曝され、あの様に運動している限りあの人達の固有の悩みは解消します。極度な緊張の

連続によって、やがてあの人達は運動を止めても悩みは消失します」

客が次に案内された部屋では、色彩鮮やかな表示ランプが点滅し、威厳に満ちた指示計

器達が人々に命令していた。

「エエツ、これが当社で開発した新サービスです。分子生物学と大脳生理学が突き止めた

記憶メカニズムを利用した最新のエレクトロニック装置・メモリックビジョンです」

「一体これは・・・」

「メモリックビジョンは記憶細胞を刺激し、人生の最も楽しかった時代に記憶的に逆行させて、そこで生活させます」

また次の部屋では、キヤー助けてくれと走る者、壁を叩く者、ウフフエへと笑う者、

ベッドに横たわる者で部屋は満ち満ちていた。どの顔にも恍惚感は漂っていたが人間性は

失っていた。一瞬、阿片窟に來たのではないかと疑った。

客は怪訝な顔をして社員を振り返った。

「ああこれねえ、過去の映画やTVドラマといった形式の受動的な娯楽ではなく、自らが

主人公、主演者の役割を与えられているのです。ホラッ、あそのプログラム112を選

んでいるあの人は、ドラマ100万年前の主人公になった積もりで、多分恐竜にでも追っ

かけられているでしょう」

世奈尾氏は、新しいものがすぐ陳腐化し飽きられる社会で、なやみとり株式会社を存続

させるため、研究開発には非常に力をいれていた。研究所では新時代のために、2、3の

テーマが精力的に研究されていた。

その一つはSFファンの憧れ、タイムマシンを開発することであった。例えば失恋して

悩んでいる人は、この装置により失恋する前の二人の楽しかった時間へ逆行するのである。

やがて、また失恋すると再び失恋する前の時間へ逆行し、これを繰り返すのである。だが

タイムマシンによるこの手数は大変面倒である。そこで、

「自動逆行装置付きタイムマシンにすべきだ」との意見が採用され再設計しつつあった。

やがて皆さんはこの便利な装置が利用でき、このようにして人間は悩みから解放されるのである。

その二つは第一のものより近い将来に望みを託すことができる。

これは人間を冷凍眠させる方法を開発することであった。人間を一年、十年、百年と冷凍眠させるのである。一種の一方性タイムマシンだが、百年後に悩みのない社会が完成している保証はないし、長期間人間業を休止させねばならぬシステム上の欠陥があった。

その三つは極めて単純な原理の応用である。0才の赤ちゃんは悩まない。古今東西深刻に悩んでいる赤ちゃんは発見されない、という事実に基づいていた。そこで世奈尾氏は人間を若返らせる研究を命じたのだが、多少の若返りではすぐに悩み多き世代に成長する欠点があった。彼は沈思黙考、練りに練り、検討に検討を重ねたすえ、次の結論に達した。

この方法は最も近い将来に可能性があり、都合よくいけば我々の生きている間に実現するかも知れない。

あちこちでドンパチパチと銃を乱射してコマメに殺害したり、大量に地雷を埋めてボチボチと殺傷する。あるいはヒットラーのガス室、トルーマンの原爆、スターリン血の粛清

など、多少はまとめて面倒みるが如き地道な努力をせずに、地球上の全人類を抹殺するのである。

現存する技術であるダイオキシン、環境ホルモン、サリン、ミサイル、核兵器等など、これを実現する手だてには事欠かないのだが、残念なことにこれらの手だては他の生物にも危害が及ぶのである。抹殺する範囲は人間だけに限り、地球上他の如何なる生物にも危害が及ばぬ手だての開発が急務であつた。

殊に次代を担う猿の生存は保証しなければならない。人間は再び猿から進化を始めるのである。ここに至って人間は本当に若返るのである。

かくして人間は悩みから完全に解放されるのである。これこそ世奈尾氏が期待する画期的な新サービスの開発であり、なやみとり株式会社に於ける究極的サービスの提供であると信じて疑わなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9736m/>

人間若返りの話

2010年10月12日05時42分発行